第２回　夕張市総合計画等策定委員会
議事概要

日時：令和８年 10 月７日（水）18:00～20:00
場所：夕張市拠点複合施設りすた　多目的ホール

■出席者

出欠	選出枠	氏名	備考
（委員）			
○	夕張市社会福祉協議会　事務局長	天野　隆明	
○	夕張市医師会　会長	中條　俊博	
○	夕張保育協会　事務局長	藤原　優介	委員長
○	夕張市農業協同組合　専務理事	武岡　宏樹	
×	夕張商工会議所　相談所長	坪田　聡	
○	一般社団法人夕張市観光プロモーション　会長	若狭　翁斉	
○	夕張鉄道株式会社　常務取締役	大島　惠司	
○	夕張市社会教育委員会　社会教育委員長	小網　敏男	
○	北海道夕張高等学校　校長	熊谷　孝宏	
○	夕張市校長会　会長	山中　晴吾	
○	夕張市 PTA 連合会　会長	渡邊　芳賢	
×	特定非営利活動法人夕張市体育協会　理事長	角田　浩晃	
○	ゆうばり再生市民会議　代表	澤井　俊和	副委員長
○	千歳公共職業安定所夕張出張所　出張所長	飛田　高弘	
○	株式会社北洋銀行夕張支店　支店長	小林　弘明	
（事務局）			
○	夕張市　芝木　誠二　副市長		
○	夕張市　板垣　克巳　総務企画課長		
○	夕張市　吉田　直人　企画係長		
○	株式会社ドーコン　岡本　真和		
○	株式会社ドーコン　生沼　貴史		
○	株式会社ドーコン　立花　大地		
○	株式会社ドーコン　長谷　奎弥		

■資料
・式次第
・委員名簿
・配席図
・説明資料

■議事
開会
・事務局より開会の挨拶を行った。

１．委員紹介
・令和８年８月４日付けで委員の変更があった小林委員及び今回より出席となった若狭委員の紹介があり、両委員より挨拶があった。

２．議事
（１）夕張市総合計画　基本構想（案）について

藤原委員長
・総合計画　基本構想（案）について、前回の策定委員会で事務局の検討事項とされた内容の報告を求める。

事務局（吉田係長）
・資料「夕張市総合計画　基本構想（案）について」及び「第２回夕張市総合計画等策定委員会　事前

意見照会結果」に基づき説明を行うとともに、事前意見照会で提出された基本構想に係る２件について以下のとおり見解を説明した。
・１点目の「夕張らしさ」の表現については、人により異なるイメージを持つこと自体を意図した表現であるため原案通りとする。２点目の「積極的」「戦略的」等の強調表現は、今後の基本計画や総合戦略の具体的施策の中で効果的な活用を検討する。
・以上の対応を踏まえ、基本構想案を原案の方向性で進めることを説明し、改めて本内容についての確認を求めた。

委員一同
・異議なし。（原案について確認）

（２）夕張市総合計画素案について

事務局（吉田係長）
・総合計画素案の提示にあたり、これまでの経過及び本日の協議手順について説明が行われた。なお、本案 23 ページ及び 28 ページに掲載の北海道大学による研究資料は、人口減少下における住民の幸せに関して研究したものであり、本計画の内容とも関連があったことから参考掲載している旨の補足説明を行った。
・議論の進め方について、基本方針ごとに分割して進行すること、並びに施策の方向性・体系を中心に協議いただきたい旨を提案した。

藤原委員長
・事務局から提案のあった議論の進め方でよいか、委員に諮った。

委員一同
・異議なし。

事務局（吉田係長）
・資料「夕張市総合計画（素案)」及び「第２回夕張市総合計画等策定委員会　事前意見照会結果」に基づき、基本方針１の説明を行うとともに、事前意見照会における意見：就学前児童を含めた一貫教育体制の記載提案について紹介を行った。本意見については事務局で預かることとし、あわせて基本方針１全体について各委員に意見を求めた。

委員一同
・ほかに意見なし。

事務局（吉田係長）
・資料に基づき、基本方針２について説明を行い、各委員に意見を求めた。

委員一同
・特段の意見なし。

事務局（吉田係長）
・資料に基づき、基本方針３について説明を行い、各委員に意見を求めた。

委員一同
・特段の意見なし。

事務局（吉田係長）
・資料に基づき、基本方針４について説明を行い、各委員に意見を求めた。

小林委員
・74 ページ：「⑤コンパクトシティの推進」について、拠点地区外に居住する地域住民に対して、今後どのような役割や生活環境を想定しているのかを本計画で示してはどうか。拠点地区外に居住する市民の暮らしの位置づけや、その支援の方向性についての説明が少ないように感じた。

事務局（吉田係長）
・総合計画の中で、どこまで具体的な内容を記載するべきか検討したい。検討結果については、次回までにご報告させていただくこととしたい。

小林委員
・承知した。

委員一同

・ほかに意見なし。

事務局（吉田係長）
・資料に基づき、基本方針５の説明を行うとともに、事前意見照会における意見：関係人口・交流人口増加に向けた拠点・宿泊施設建設等の計画化提案ついて紹介を行った。本意見については事務局で預かり検討することとし、あわせて基本方針５全体について各委員に意見を求めた。
委員一同
・ほかに意見なし。

藤原委員長
・総合計画の基本方針について、全体を通しての意見を確認した。
澤井委員
・提出された各意見について、意見を提出する側も総合計画、総合戦略のどちらに対して述べることが適しているかが判別が難しいところもあるので、事務局を通して市には、記載する計画の判断も含めて対応していただきたいと感じている。
小網委員
・51 ページ：基本方針２「障がい福祉の充実」について、夕張高等養護学校との関わりや連携について、記載を行っていただきたい。夕張高等養護学校は、市外の生徒も受け入れ、地域に根差した教育を展開しており、市の障がい福祉に関連するものと考えている。
藤原委員長
・教育分野ではなく、福祉分野に記載するという趣旨か。
小網委員
・卒業後は夕張市内の事業所で受け入れる生徒もいることから、福祉の項目に入れていただきたい。
藤原委員長
・夕張高等養護学校については、福祉分野だけでなく教育分野にも記載してよいのではないか。
事務局（吉田係長）
・いただいた意見を踏まえ、記載について検討したい。

（３）第３期夕張市地方人口ビジョン及び地方版総合戦略素案について
事務局（吉田係長）
・議論の進め方について、「はじめに」「地方人口ビジョン」「地方版総合戦略の概要」について審議を行った後、戦略ごとに区切って、方針及び取組み並びに、数値目標及び KPI を順番に協議する進行手順を提案した。なお、数値目標及び KPI については、設定項目を中心に意見を伺い、具体的な数値については次回の策定委員会にて審議する方針を示した。
藤原委員長
・事務局から提案のあった議論の進め方でよいか、委員に諮った。
委員一同
・異議なし。

事務局（吉田係長）
・資料「第３期夕張市地方人口ビジョン及び地方版総合戦略（素案）」及び「第２回夕張市総合計画等策定委員会　事前意見照会結果」に基づき、「はじめに」「地方人口ビジョン」「地方版総合戦略の概要（43 ページまで）」について説明を行うとともに、事前意見照会における意見：維持・縮小統合するインフラやサービスの明確化提案について紹介をおこなった。本意見については事務局にて預かることとし、あわせて各委員に意見を求めた。
小林委員
・35 ページ：「人口対策の基本方針」について、基本姿勢の下線部の文章（人口減少傾向を直視しつつ、（中略）結果的に人口減少を多少なりとも緩やかにしていくこと）が衰退ありきのものに感じた。当該箇所についてはより前向きな表現に修正いただきたい。
・37 ページ：合計特殊出生率 1.80 は非常に良い目標であると感じるが、この目標を達成するために市としてどのような支援をするのかを明記すると市民に伝わりやすいのではないかと考える。
事務局（吉田係長）
・35 ページ：当該箇所については前向きな表現ができるように検討する。

・37 ページ：具体的な施策の記載は人口ビジョンの中ではなく、総合戦略に記載していくのがよいと考える。

藤原委員長

・37 ページ：合計特殊出生率について、実際に今後どの程度人口が増えるのかイメージしにくい。現状の 1.11 と 1.80 という表現だけではどの程度違うのかイメージが湧きにくいのではないか。

事務局（吉田係長）

・出生率 1.80 が何人と具体的に示すことは難しい。一方で、33 ページには自然増減・社会増減の影響度を考慮したときの数値が記載されている。今回はこの推計値が参考値になると考えている。

事務局（ドーコン　岡本）

・33 ページの記載事項は自然増減・社会増減の影響度を分析したものであり、夕張市では自然増減の影響の方が社会増減の影響に比べて小さいということを示している。
・夕張市では既に高齢化率が高まっていることに加えて若い世代の方々が少ないため、出生率が上がっても人口増には大きく寄与してこないということになる。一方で、人口流出という問題があることから、社会増減の影響度が高くなっている現状である。そのため、人口を増やしていくためにはどうするかという観点で考えた時には、出生率の上昇よりも人口流出をいかに食い止めるかがポイントになると考えている。

藤原委員長

・出生率の上昇はかなりハードルが高いが、戦略ではこの数値を目指していくということでよろしいか。

事務局（吉田係長）

・国が示す数値は、現在の夕張市においても目指すべき水準であると考え設定した。

天野委員

・あくまでも計画上の目標ではあるが、前期計画期間において合計特殊出生率が 1.1 を下回る場合も想定されるのではないか。計画した数値から外れた場合にはどのように対応していくのか。

事務局（吉田係長）

・ご意見のとおり、目指す数値と実際の値に乖離が生じることは大いに考えられる。総合戦略については、5 年間の計画期間終了時に見直しを行うこととしていることから、その時点で各目標数値についても見直したいと考える。

藤原委員長

・本戦略について、人口減少が前提で前向きな印象を受けにくい。人口増加する方向など少しでも前向きな内容となるように検討していただきたい。

委員一同

・ほかに意見なし。

事務局（吉田係長）

・資料に基づき、戦略 1 の説明を行うとともに、事前意見照会における意見：拠点地区の生活満足度の KPI 化について紹介を行った。本意見については事務局で預かり検討することとし、あわせて戦略 1 全体について各委員に意見を求めた。

藤原委員長

・46 ページ：生活交通確保プロジェクトについて、大島委員よりご意見を伺いたい。

大島委員

・バス乗務員の高齢化が進んでいる中で、現状は利用者からの運賃収入だけで維持することは難しく、夕張市からの補助金によって運行が成り立っている状況である。
・今後の利用者数の減少を見据えて、便数の維持の必要性を費用面や人員の観点で、市と一緒に検討を行っていく必要がある。

藤原委員長

・厳しい状況の中でも、市内の路線バスを維持していただいている。夕張市でも今後維持していくための対策等を検討して、総合戦略にも示していただきたい。

澤井委員

・「生活交通確保プロジェクト」については KPI の設定が難しいのではないか。
・人口が減少すると公共交通の利便性が低下せざるを得ないが、運行事業者が乗務員を確保し、バスの運行を継続していく必要がある。
・本プロジェクトに対する KPI をどのように設定して活用していくのかという方針があれば教えていただきたい。

事務局（吉田係長）
・KPI の設定方針についてはこれからの検討事項となるため、現時点でご提示できるものはない。具体的な数値の考え方については、KPI の項目が確定されてから説明することとしたい。
藤原委員長
・基準値と目標値の設定とその内容について、次回の策定委員会で示す流れであると想定するが、意見を踏まえて再検討する時間は確保できるのか。
事務局（吉田係長）
・総合計画基本構想の検討時と同様に、まず事務局から案を提示し、事前にご意見をいただくことを想定している。その上で、事前意見照会の結果を反映した案を第３回策定委員会でお示しできればと考えている。

事務局（吉田係長）
・資料に基づき、戦略２の説明を行うとともに、事前意見照会における意見：関係人口の役割モデル具現化の提案について紹介を行った。本意見については事務局で預かり検討することとし、あわせて戦略２全体について各委員に意見を求めた。
小林委員
・戦略２の数値目標に対し、ターゲットを明確に表記するのはどうか。どの層に向けてどのように PR をしていくのかを明確にした方が戦略を立てやすくなると考えている。
事務局（吉田係長）
・ターゲット層を明確にして進めていく考えもある一方で、あえて対象を限定せず、幅広く捉えて進めることも考えられる。目的やこれからの検証等を鑑みて、どちらの設定が進めやすいか検討したい。
澤井委員
・48 ページ：二酸化炭素の吸収による J クレジットの創出という内容が施策で掲げられていることから、J クレジットに係る数値を KPI に加えるのはどうか。
事務局（吉田係長）
・検討することとしたい。
藤原委員長
・「夕張ブランド農業プロジェクト」について、武岡委員よりご意見を伺いたい。
武岡委員
・現状の生産面積は維持していきたいが、雇用者が増えても、すぐに生産量の増加が期待できるものではない。
・農協では、離農によって空いた農地の有効利用もしながら、新規就農者を増やす取組みを考えている。
藤原委員長
・「地域資源活用型観光推進プロジェクト」について、若狭委員にご意見を伺いたい。
若狭委員
・総合戦略全体について、減少した数字を示して衰退を止めるという内容であっても、止める根拠が示されていないので、今後どのように目標を達成されるか疑問を感じる。ビジョンを設定した後、それに対する担当部署を設け、それぞれの担当者が責任をもって実行すること大切ではないか。このことから、誰がどのように責任をもって取り組むのかの体制を構築することが最も重要と考える。
・多様な内容もあり、現実的に取り組むのは非常に難しいとも思うが、市民の意見を聞き入れる窓口を設けるなど、市役所の体制を作ることから実行するまでを決めるのが戦略と考える。
・分野ごとではなく、分野を横断して取り組み、そして市民目線から見ることで住みやすい街になると考える。数字だけを並べるのではなく、取組の実施に対する評価も行っていただきたい。
事務局（吉田係長）
・総合計画及び総合戦略は、策定して終わりではないことを改めて認識した。策定をスタートと捉え、施策をどのように実行・実現し、その成果をどのように評価するのかを念頭に置いて進めていきたい。
藤原委員長
・「起業・しごとづくりプロジェクト」について、飛田委員よりご意見を伺いたい。
飛田委員
・夕張市の求職者は減少傾向であり、その中でもミスマッチが生じていることが実態である。夕張市に人が集まり、経済が活性化し、雇用が発生する流れが大切であると考えている。
・KPI については、新たに就職した障がいのある人の数を設定しているが、障がいのある人に対象を限定すると、個人が特定される可能性があるため、指標として設定することは難しいと考えている。代替

として、新たに就職した全体の人数を指標にするのはどうか。

事務局（吉田係長）

・いただいた意見を踏まえて、検討したい。

熊谷委員

・就労について、今は日本全体が人口オーナス期に入っている。そのため、今後工場を誘致し、新規雇用を広げるということは考えにくい。夕張市内には多くの工場があるので、それらをどのように活かしていくかが大切である。

・起業しやすい街にするという目標が必要であり、KPI にも新規創業者という項目がある。しかし、具体的な施策の中には起業に関する内容が少ないと感じた。夕張高校でも夕張の持つリソースやポテンシャルについて勉強しており、創業したいという高校生もいることから、夕張市が起業しやすい環境を整備し、支援できるような施策が盛り込まれるとよいのではないか。

事務局（吉田係長）

・助成制度の継続という言葉はあるが、さらに具体的な表現ができるか検討したい。

事務局（吉田係長）

・資料に基づき、戦略３の説明を行い、各委員に意見を求めた。

山中委員

・54 ページ：「ゆうばりっこ応援プロジェクト」について、具体的な施策の一つである小中一貫教育に係る取組は夕張が最前線であると自負している。

・スキー場について、昨年度はリフトが１つしか動いておらずスキー授業が成り立たなかった。夕張のスキー場について市としてどのように捉えているのか。子供の体力面に大きくかかわるので、維持管理の充実を具体的な施策に入れていただきたい。

事務局（芝木副市長）

・スキー場は市の所有施設ではないため、戦略に直接位置づけることは難しい。しかし、小中高生にはスキー授業は実施していただきたいので、よりサービスの充実が図られるように、運営業者へ働きかけを行っていきたい。

飛田委員

・スキー場について、民間管理で行政が関わることは難しいと思うが、ホテルの再開を含め、夕張のシンボルとして市も維持・活用に関与していくことで、夕張の発展につながる可能性があると考えている。

澤井委員

・「ゆうばりっこ応援プロジェクト」について、小中一貫教育や教員に係る取組は基本構想に合致している。しかし、本戦略で示されている内容と、実際の教育現場で行われている優れた取組との間に齟齬があるのではないかと感じている。

・スキー場についても、現在は民間企業が運営しており、経営的に厳しい面があるかもしれないが、どのように市でバックアップして魅力にしていくのかが戦略として必要であると思う。

・既に地域にある資源を今後どのように活かし、復活させて PR していくのかについて検討していただきたい。

事務局（吉田係長）

・「ゆうばりっこ応援プロジェクト」以外にも関連がありそうなご意見をいただいたところ。前向きな施策や表現ができるものがあるか検討することとしたい。

藤原委員長

・「健康寿命日本一プロジェクト」について中條委員から、ご意見を伺いたい。

中條委員

・本プロジェクトは良い案であると感じた。今後の医療体制について、現状を最低限維持すること及び診療科の補足をしていきたいと考えている。

・人口減少や高齢化、通院手段、介護など様々な課題があり、厳しい状況ではあるが、可能な限り維持していけるような施策があればよいと考えている。

藤原委員長

・子育て環境の整備等の観点から渡邊委員にご意見を伺いたい。

渡邊委員

・PTA の立場であると同時に、高齢者福祉が専門でもあるため、「健康寿命日本一プロジェクト」について意見を述べたい。

・健康維持と健康寿命に焦点を当てるのは理解できるところだが、要介護者の具体的なサポートについても施策として記載していただきたい。
・医療従事者に加え、福祉の専門職に係る人材の確保についても検討していただきたい。

藤原委員長

・貴重な意見を戦略の中に盛り込んでいけるように協議していただきたい。

小林委員

・夕張市は災害が少ない町であることから、BCP 対策で企業の二拠点目として活用するという方法があるのではないか。起業ではなく企業誘致を戦略に含めてもよいのではないか。
・KPI について、基準値や目標値の設定方針を計画に示したほうがよいのではないか。

事務局（吉田係長）

・企業誘致について、案として検討したい。
・KPI の示し方についても検討することとしたい。

藤原委員長

・次回に向けて、いただいた意見を踏まえて計画書案の作成を進めていただきたい。

閉会

・事務局　板垣課長閉会挨拶
・次回の策定委員会は 12 月を予定。

以　上